

# 第1章 火 災

## 第1 火災による死傷者の概要

東京消防庁管内では、平成20年中に5,763件の火災が発生し、128人の死者が発生しました。火災による死者128人のうち、自損行為による死者は27人でした。

以下、第4（高齢者の行為が出火原因に関連した火災）を除く本章では、自損行為による死者27人を除いた火災による死者101人のうち、65歳以上の方（以下「高齢者」という。）の死者及び高齢者の火災による負傷者について分析を行います。

火災による死者101人のうち、高齢者は62人で全体の61.4%を占めています。過去5年の高齢者の死者の割合は、各年とも5割を上回っており、平成20年は過去5年間で最も高い比率を示しています。

また、火災による負傷者（自損行為による負傷者及び消防活動従事者を除く。）は、1,141人で、そのうち高齢者は286人で25.1%を占めています（表1）。

過去10年間の火災による高齢者の死者の推移は、図1のとおりです。

表1 火災による死傷者の発生状況（過去5年）

年 別	火災 件数	死 者			負 傷 者		
		全 体	高齢者	比率%	全 体	高齢者	比率%
平成16年	6,747件	94(28)人	51(4)人	54.3%	1,152人	290人	25.2%
平成17年	6,377件	110(27)人	64(5)人	58.2%	1,191人	274人	23.0%
平成18年	5,915件	86(30)人	52(7)人	60.5%	1,234人	269人	21.8%
平成19年	5,800件	114(35)人	61(7)人	53.5%	1,191人	293人	24.6%
平成20年	5,763件	101(27)人	62(9)人	61.4%	1,141人	286人	25.1%

※（ ）は「自損行為による死者」数で外数

※ 負傷者の全体数は、自損行為による負傷者及び消防活動による負傷者を除く数

※ 総火災件数には、治外法権火災も含む。

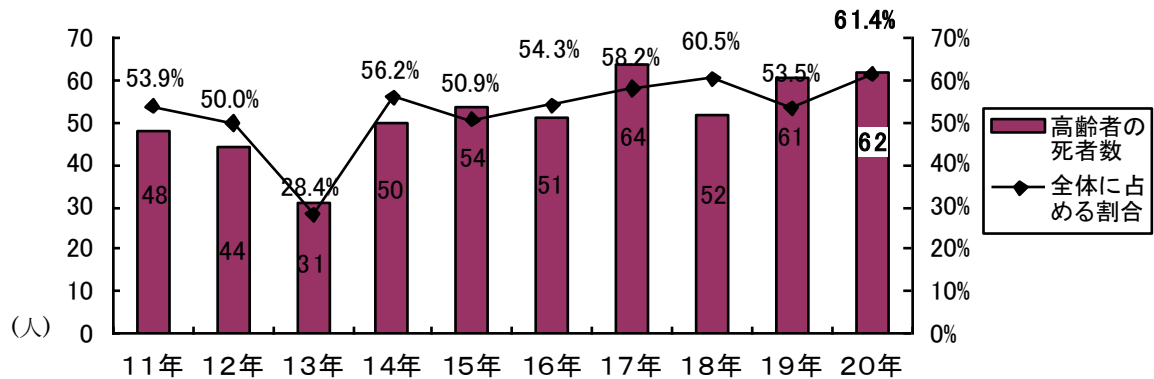
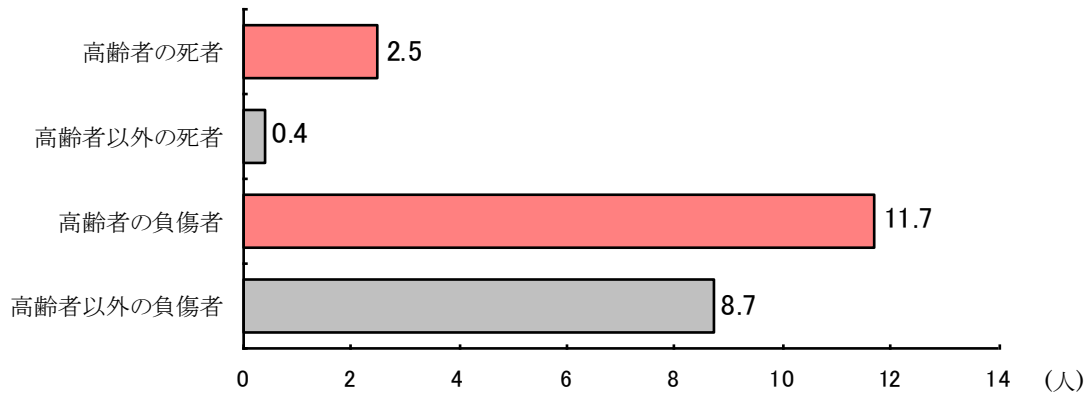


図1 火災による高齢者の死者の推移（過去10年）

次に、高齢者と高齢者以外の者の火災による死傷者数を、それぞれの人口の10万人当たりで比較してみると、高齢者の死者は2.5人で高齢者以外の死者0.4人の約6.3倍となっており、負傷者は11.7人で高齢者以外の負傷者8.7人の約1.3倍となっています(図2)。



※ 人口は、平成21年1月1日現在の東京消防庁管内の人口で、年齢不詳者を除いたもの。

図2 人口10万人当たりの火災による死傷者